

(3) 主要な施策の成果について(福祉部)

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財 源 内 訳					内 容	
			国	県	起 債	その他	一般財源		
人権・同和対策課	人権・同和问题啓発事業費							<p>市民の人権・同和问题に対する正しい理解と認識を深め、人権尊重の主体的な行動へと結び付けていくことができるよう、各種の啓発活動を実施した。</p> <p>1 同和问题啓発強調月間、人権週間、障害者週間の街頭啓発に係る啓発物品の作成</p> <p>2 人権啓発冊子の作成</p> <p>3 広報たがわによる人権問題特集号の掲載</p> <p>4 人権問題講演会、研修会の開催</p> <p>5 啓発用看板の作成</p>	
		本年度	4,381		2,127				2,254
		前年度	7,097		3,548				3,549
		増減額	△ 2,716	0	△ 1,421	0	0		△ 1,295
人権・同和対策課	隣保館運営事業費							<p>地域社会全体の中で福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティーセンターとして、生活上の各種相談事業や人権課題の解決のための各種事業を上伊田・中央・弓削田の3隣保館で行った。</p> <p>1 相談事業 地域住民に対し、生活上の相談、人権に関わる相談に応じ、適切な助言・指導を行った。</p> <p>2 各種講座開催 各種講座を開催し、文化活動を推進することにより、教養、文化水準の向上を図るとともに、これらの活動を通じて住民相互の交流促進を図った。</p> <p>3 啓発・広報活動 地域住民に対し、広く人権に関する理解を深めるため、日常生活に根ざした啓発・広報活動を行った。</p>	
		本年度	34,390		23,640		126		10,624
		前年度	36,056		23,674		126		12,256
		増減額	△ 1,666	0	△ 34	0	0		△ 1,632

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財 源 内 訳					内 容
			国	県	起 債	その他	一般財源	
人権・同和対策課	地域交流促進事業費							上伊田・中央・弓削田の3隣保館で地域との交流促進を目指し、独自のテーマを設定するなどして、地域の実情に則した創意工夫のある講座を継続して開催し、地域住民相互の理解と交流を一層促進する事業を行った。
	本年度	1,854		1,388			466	交流促進講座開催事業 地域住民相互の交流をより一層促進するため、交流促進講座を開催した。
	前年度	1,854		1,388			466	
	増減額	0	0	0	0	0	0	
人権・同和対策課	民生施設災害復旧事業費							台風災害による災害復旧事業に係るもの
	本年度	1,300		302		0	998	被害を受けた施設(保険料あり) 同和対策集会所 6施設 納骨堂 4施設 不良環境集会所 1施設 低環境集会所 2施設
	前年度	2,304		198	(諸)	599	1,507	
	増減額	△ 1,004	0	104	0	△ 599	△ 509	

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財源内訳					内容
			国	県	起債	その他	一般財源	
	(住宅新築資金等貸付特別会計)							歴史的社会的理由により、生活環境の向上が阻害されている同和地区の環境整備の改善を図るため、昭和42年度から住宅改修資金貸付制度を施行、昭和54年度から住宅新築資金並びに宅地取得資金貸付制度が施行された。平成8年度の地域改善対策特定事業に係る国の財政上の特例措置に関する法律の一部改正に伴い、平成8年度末で貸付制度が終了し、現在は債権の回収業務のみを行っている。
人権・同和対策課	住宅新築資金等貸付事業							
	本年度	189,310		59,839		(回) 140,954 (繰) 70,297 (諸) 1,649	△ 83,429	
	前年度	190,162		46,764		(回) 153,947 (繰) 58,972 (諸) 776	△ 70,297	
	増減額	△ 852	0	13,075	0	△ 795	△ 13,132	新築資金 貸付件数 558件 3,305,400,000円 改修資金 貸付件数 1,349件 2,649,340,000円 宅地資金 貸付件数 162件 732,500,000円 計 2,069件 6,687,240,000円
								平成17年度収入済額 新築資金 110,294,267円 改修資金 4,368,949円 宅地資金 26,290,432円 計 140,953,648円
								住宅新築資金等貸付に伴い、借り受けた地方債の償還 償還元金 136,884,504円 償還利子 34,155,196円
								男女共同参画社会の実現に向けて、男女共同参画センターの充実を図るため推進員を配置し、又啓発事業の一環として、学習会、啓発誌及び広報たがわ特集号への掲載、県と共催で田川地区男女共同参画フォーラム等を開催した。
人権・同和対策課	男女共同参画推進一般経費							
	本年度	2,770		135			2,635	
	前年度	798		195			603	1 啓発誌「波紋」の発行 2 広報たがわ特集号
	増減額	1,972	0	△ 60	0	0	2,032	3 田川地区男女共同参画フォーラム実行委員会運営負担金 275,520円

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財源内訳					内容
			国	県	起債	その他	一般財源	
人権・同和対策課	男女共同参画審議委員経費							田川市男女共同参画計画に関し、意見を述べるとともに。実施状況を点検及び審査する委員会である。審議会委員の中から、苦情及び相談等委員を4名諮問し、田川市男女共同参画施策に対し、苦情及び相談等の審議を行った。
	本年度	33					33	
	前年度	0					0	1 男女共同参画推進条例第16条に基づき設置された男女共同参画審議会の推進管理
	増減額	33	0	0	0	0	33	2 男女共同参画推進条例第15条に基づき設置された苦情及び相談等委員の推進管理
人権・同和対策課	婦人相談事業							売春防止法に基づき、婦人相談員を配置し、売春を行っている、あるいは売春を行うおそれのある女性(要保護女子)を対象にした相談や指導、保護、更正と配偶者暴力防止法に基づき、夫(配偶者)からの暴力を受けている女性の保護、その他の婦人相談業務を行っている。
	本年度	2,246	664				1,582	
	前年度	2,213	664				1,549	1 婦人相談所、婦人寮への婦女子緊急一時保護業務 10件
	増減額	33	0	0	0	0	33	2 来庁及び電話での相談業務 延218件(実人員86人)

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財源内訳					内容
			国	県	起債	その他	一般財源	
								民生委員法及び児童福祉法に規定された、民生委員・児童委員及び主任児童委員の活動に関する経費
保護課	民生委員・児童委員関係事業							
	本年度	6,006	69	0			5,937	
	前年度	6,096	107	50			5,939	1. 各委員活動費用弁償 4,802千円 (136人 @ 35,000円)
	増減額	△ 90	△ 38	△ 50	0	0	△ 2	2. 民生委員協議会連合会活動補助金 1,034千円
								生活保護に関する一般管理経費
保護課	生活保護事務事業							
	本年度	17,939	11,871				6,068	
	前年度	36,513	28,115				8,398	生活保護の適正実施推進に要する施行事務費
	増減額	△ 18,574	△ 16,244	0	0	0	△ 2,330	1. 診療報酬明細書等点検業務委託料 3,433千円 2. その他生活保護の適正実施推進に要する事務経費 14,506千円

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財源内訳					内容
			国	県	起債	その他	一般財源	
保護課	生活保護事務事業							生活保護扶助費 平成17年度 平均保護世帯数 1,648世帯 " 人員 2,420人 " 保護率 45.9%
	本年度	4,125,242	3,075,323	132,397		(諸) 24,809	892,713	扶助費別決算額
	前年度	3,996,949	2,982,495	151,918		(諸) 21,508	841,028	1. 生活扶助費 1,270,748千円 2. 住宅 " 270,348千円 3. 教育 " 16,164千円 4. 医療 " 2,443,798千円 5. 出産 " 2,327千円 6. 生業 " 11,224千円 7. 葬祭 " 13,851千円 8. 保護施設事務費 7,799千円 9. 介護扶助費 88,983千円
	増減額	128,293	92,828	△ 19,521	0	3,301	51,685	
保健高齢障害課	老人福祉センター運営費							福祉センターは地域住民に対し、社会福祉その他住民生活の維持向上のための場をあたえるもので、教養・文化・レクリエーション等活動の場として提供する。事業内容は、老人福祉に関すること、障害者の福祉に関すること、母子・寡婦及び父子家庭等の福祉に関すること、児童福祉に関すること、その他福祉事業の推進に関すること。
	本年度	46,439					46,439	
	前年度	44,845					44,845	
	増減額	1,594	0	0	0	0	1,594	

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財源内訳					内容
			国	県	起債	その他	一般財源	
保健高齢障害課	敬老祝金支給事業費							敬老の日に際し、多年にわたり社会の進展に寄与した高齢者を敬愛し、長寿を祝う敬老祝を支給する。平成16年度より節目支給とし、高齢者に敬老祝として田川市商業振興券を配布する。
	本年度	6,507					6,507	
	前年度	6,073					6,073	・77歳 6,000円 ・88歳 10,000円 ・99歳 20,000円 ・100歳以上 30,000円
	増減額	434	0	0	0	0	434	
保健高齢障害課	老人保護措置事業費							介護を要する高齢者の福祉の向上を図るため、65歳以上の高齢者を対象施設へ措置(市長寿園除く)した場合、入所者本人及び扶養義務者の両方からその負担能力に応じて費用を負担してもらい、残りを国(1/2)及び市(1/2)の公費(措置費)で負担している。費用(国・及び措置した市)の内訳として ①事務費(職員の人件費、管理費等) ②事業費(入所者の飲食物費、光熱水料等)
	本年度	21,253	0	0		(分) 3,209 (諸) 3,703	14,341	
	前年度	18,409	6,981	516		(分) 2,711	8,201	
	増減額	2,844	△ 6,981	△ 516	0	4,201	6,140	他市町村の養護老人ホーム入所措置は、錦風荘(添田町)、篠栗敬光園(篠栗町)、天郷荘(赤池町)、松月園(福岡市)、愛光園(川崎町) ○措置者 11名

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財源内訳					内容
			国	県	起債	その他	一般財源	
保健高齢障害課	ねたきり老人対策費							65歳以上の寝たきりの高齢者のいる世帯に、世帯あたり36リットルの白灯油を支給する。 ○対象者 116世帯
		本年度	158				158	
		前年度	171				171	
		増減額	△ 13	0	0	0	△ 13	
保健高齢障害課	在宅介護支援センター運営事業費							在宅介護に関する総合的な相談に応じ、そのニーズに対応した各種の保健福祉サービスが総合的に受けられるように、関係行政機関、サービス実施機関等との連絡調整等の便宜を図る。7事業所に委託している。 ○委託先 ・ことぶき園 ・愛の里白寿荘 ・ふれ愛ビレッジ ・寿楽園 ・社協在宅介護支援センター ・暖家の丘 ・実りの里
		本年度	37,091		29,888		7,203	
		前年度	38,114		28,996		9,118	
		増減額	△ 1,023	0	892	0	△ 1,915	

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財源内訳					内容
			国	県	起債	その他	一般財源	
保健高齢障害課	老人クラブ活動等社会活動促進事業費							老人クラブの組織等の育成と充実を図るため、老人クラブ及び老人クラブ連合会活動に対して、補助金を支給する。
	本年度	4,684		2,703			1,981	71単位老人クラブ 会員数3,783人
	前年度	4,727		2,658			2,069	
	増減額	△ 43	0	45	0	0	△ 88	
保健高齢障害課	住宅改造費助成事業費							在宅の要援護高齢者若しくは障害者又はこれらと同居する世帯の家庭での自立を促進するとともに、介護者の身体的、精神的な負担の軽減を図るため、高齢者等に配慮した住宅に改造するための費用を30万円を限度に助成する。改修内容は、手すりの取付け、床段差の解消等。
	本年度	3,516		1,757			1,759	○対象者 14名
	前年度	4,173		2,092			2,081	
	増減額	△ 657	0	△ 335	0	0	△ 322	

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財源内訳					内容
			国	県	起債	その他	一般財源	
保健高齢障害課	在宅高齢者介護手当経費							寝たきり高齢者を常時介護している同居の介護者の精神的・経済的負担を軽減するため、月額5,000円の手当を支給する。 ○支給対象者 64名
	本年度	2,725				(財) 2,725	0	
	前年度	4,125				(財) 4,006 (基) 119	0	
	増減額	△ 1,400	0	0	0	△ 1,400	0	
保健高齢障害課	外国人高齢者福祉手当経費							外国人登録原票に登録され、田川市に10年以上居住している者(大正15年4月1日以前に出生した満70歳以上の者)で、年金の受給、生活保護法の適用を受けていない者について月額7,000円を支給する。 ○対象者 3名
	本年度	252				(財) 252	0	
	前年度	406				(基) 406	0	
	増減額	△ 154	0	0	0	△ 154	0	

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財源内訳					内容
			国	県	起債	その他	一般財源	
保健高齢障害課	介護予防・地域支え合い事業費							<p>要援護高齢者及びひとり暮らし高齢者並びにその家族等に対し、各種サービスを提供することにより自立した生活と質の確保を図るとともに、在宅の高齢者に対する生きがいや健康づくり活動及び寝たきり予防のための知識の普及啓発等により、健やかで活力ある地域づくりを推進し、要援護高齢者等の総合的な保健福祉の向上を図る。</p> <p>○実施事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配食サービス事業 189名、22,982食 ・生きがい公民館事業 29館 ・家事援助事業 24名 ・緊急通報体制等整備事業 114名 ・生活管理指導短期宿泊事業 1名 ・成年後見制度利用支援事業 利用なし ・世代間交流事業 2教室
	本年度	28,659		11,468		(分) 9,434 (財) 1,028 (基) 4,505	2,224	
	前年度	28,266		13,671		(分) 9,538	5,057	
	増減額	393	0	△ 2,203	0	5,429	△ 2,833	
保健高齢障害課	老人福祉電話費							<p>一人暮らしの高齢者に、福祉電話を貸与することにより、当該高齢者の安否の確認等を関係機関及び地域住民の協力を得て行い、精神的な安心感を与えるとともに不慮の事故を防止する。市の負担は設置料、基本料金、通話料900円まで。</p> <p>○貸与者</p> <ul style="list-style-type: none"> 継続者 25名 新規設置者 3名 撤去者 3名
	本年度	990					990	
	前年度	977					977	
	増減額	13	0	0	0	0	13	

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財 源 内 訳					内 容
			国	県	起 債	その他	一般財源	
								低所得者の高齢者に対して、介護保険利用料の半額を助成する。限度額は月額7,500円
保健高齢障害課	介護保険利用料助成金交付事業							
	本年度	135					135	
	前年度	252					252	
	増減額	△ 117	0	0	0	0	△ 117	
								高齢者の体力に応じた農作業を行い、高齢者自ら健康で明るい生活と生きがいを見出すことを目的し、市内3園で実施している。
保健高齢障害課	老人農園事業費							
	本年度	347					347	・下伊田農園
	前年度	787					787	・川宮農園
	増減額	△ 440	0	0	0	0	△ 440	・位登農園

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財源内訳					内容
			国	県	起債	その他	一般財源	
保健高齢障害課	シルバー趣味の教室事業費							高齢者福祉対策の一環として、高齢者の趣味を生かした技術又は技能を修得することにより、心身の機能低下を防止するとともに、高齢者福祉の向上に寄与する。現在11教室で1講座年間22回開催する。
		本年度	1,325				(分) 420	905
		前年度	1,558				(分) 440	1,118
		増減額	△ 233	0	0	0	△ 20	△ 213
保健高齢障害課	高齢者保健福祉計画策定事業							老人保健法及び老人福祉法に基づき、地域における高齢者保健福祉政策全般にわたる計画とし、総合的な高齢者保健福祉事業の水準の向上を図ることを目的として策定。
		本年度	2,170					2,170
		前年度	0					0
		増減額	2,170	0	0	0	0	2,170
								計画期間 平成18年度から平成20年度 基本理念 「健やかに、明るく、楽しく生きよう」 基本的な方向性 I 健康づくりの推進 II 介護予防の推進 III 生きがいつくりや社会参加の推進 IV 安心して生活できる基盤整備

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財源内訳					内容
			国	県	起債	その他	一般財源	
保健高齢障害課	ゲートボール大会事業費							高齢者相互の親睦を深め、健康の増進を図るため、老人クラブ親善ゲートボール大会を実施する。実施は年1回。
	本年度	87		72			15	
	前年度	48		0			48	
	増減額	39	0	72	0	0	△ 33	
保健高齢障害課	バスハイク事業費							年2回バスハイクを実施し、高齢者相互の親睦を深める。
	本年度	799				(分) 101	698	
	前年度	713				(分) 286	427	ひとり暮らしバスハイク(春) 201名参加 シルバーバスハイク(秋) 257名参加
	増減額	86	0	0	0	△ 185	271	

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財 源 内 訳					内 容
			国	県	起債	その他	一般財源	
保健高齢障害課	全国健康福祉祭(ねんりんピック)事業							<p>東鷹高校をメイン会場に、マラソンコースである「いちよう並木」を舞台に全国からの代表選手並びに一般参加選手が健脚を競い、交流を深めた。また、マラソン競技とは別に実施した関連イベントにも多くの来場者が訪れるなど盛大なマラソン交流大会となった。</p> <p>大会前日には、全国からの代表選手を対象とした歓迎レセプションを開催し、会場内で参加者全員が炭坑節を踊るなど、本大会を通じ「炭坑節のふるさと田川」を全国に向けてPRすることが出来た。</p>
	本年度	8,201				(諸) 4,140	4,061	
	前年度	1,600					0	
	増減額	6,601	0	0	0	4,140	2,461	
								<p>歓迎レセプション 400名参加</p> <p>マラソン交流大会 5,440名参加</p>
保健高齢障害課	介護保険事務費							<p>介護保険に係る窓口業務 福岡県介護保険広域連合との連絡・調整 介護保険事業計画の進捗管理 介護保険に係る苦情・相談の処理 介護保険制度に係る広報活動 介護保険料滞納者の保険料徴収</p>
	本年度	1,708					1,708	
	前年度	1,809					1,809	
	増減額	△ 101	0	0	0	0	△ 101	
								<p>主な窓口事務</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 要介護認定申請受付事務 ◇ サービス計画依頼届出受付事務 ◇ 高額介護費申請受付事務 ◇ 食事標準負担額減額申請受付事務 ◇ 資格管理事務 ◇ 苦情・相談事務 <p>その他の事務</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 広域連合との連絡調整 ◇ 居宅介護支援事業者連絡会に係る庶務事務 ◇ 認定状況・給付状況の分析 ◇ 保険料滞納者に関する徴収事務

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財源内訳					内容
			国	県	起債	その他	一般財源	
保健高齢障害課	介護保険広域連合負担金							福岡県介護保険広域連合規約第18条第1項第1号及び同条2項の規定による負担金。下記の経費に区分して負担を行なう。 1 共通経費(下記2・3を除く経費) 2 要介護認定に要する経費 3 介護給付に要する経費
	本年度	820,686					820,686	各経費の内訳 1 共通経費 88,364千円 2 要介護認定に要する経費 63,300千円 3 介護給付に要する経費 669,022千円
	前年度	824,882					824,882	
	増減額	△ 4,196	0	0	0	0	△ 4,196	
保健高齢障害課	社会福祉団体活動助成事業費							社会福祉団体の行う活動に対し助成することにより、当該団体の育成及び振興を図り、もって住民福祉の向上を図る。
	本年度	911				0	911	補助金の交付先、交付額 ・田川市社会福祉協議会 477,000円 ・筑豊宏済会 39,000円 ・田川保護区保護司会 192,000円 ・田川市遺族連合会 46,000円 ・田川市団体連絡協議会 157,000円
	前年度	4,606				(基) 3,500	1,106	
	増減額	△ 3,695	0	0	0	△ 3,500	△ 195	

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財源内訳					内容
			国	県	起債	その他	一般財源	
保健高齢障害課	身体障害者在宅福祉事業							<p>重度身体障害者が居宅において日常生活を営むことができるよう、ホームヘルプサービス、デイサービス、短期入所の利用について必要な便宜を図ることにより、身体障害者の自立と社会参加を促進し、福祉の増進を図る。</p> <p>・ホームヘルプサービス 66人 29,707,580円 ・デイサービス 12人 5,984,610円 ・短期入所 5人 664,140円</p>
		本年度	36,358	19,441	9,831		7,086	
		前年度	31,135	16,587	8,481		6,067	
		増減額	5,223	2,854	1,350	0	0	
保健高齢障害課	身体障害者(児)補装具給付事業費							<p>身体の一部の欠損や機能障害による能力の低下を代行する手段として交付されるもの。身体障害者(18歳以上)の補装具の種類は16種類あり、身体障害児(18歳未満)の方は20種類ある。</p> <p>平成17年度給付実績</p> <p>1,522件(身体障害者1,353件、身体障害児169件)</p> <p>・装具 55件(身障者35件、身障児20件) ・補聴器 62件(身障者61件、身障児1件) ・車いす 10件(身障者5件、身障児5件) ・ストマ用装具 954件(身障者954件) ・紙おむつ 145件(身障者48件、身障児97件) ・座位保持装置 9件(身障児9件) ・その他 60件(身障者52件、身障児8件) ・修理 227件(身障者198件、身障児29件)</p>
		本年度	30,692	17,012			13,680	
		前年度	27,134	12,078			15,056	
		増減額	3,558	4,934	0	0	0	

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財源内訳					内容
			国	県	起債	その他	一般財源	
保健高齢障害課	身体障害者更生医療給付事業費							身体上の障害を治療することによって、その障害の進行を防いだり、障害の軽減が可能である場合に必要な医療の給付を行う。心臓手術、人工透析などが認められている。
	本年度	8,463	5,561				2,902	平成17年度給付実績
	前年度	20,319	9,602				10,717	76件
	増減額	△ 11,856	△ 4,041	0	0	0	△ 7,815	・肢体不自由 2件 176,393円 ・心臓機能障害 53件 5,590,219円 ・じん臓機能障害 21件 2,695,402円
保健高齢障害課	身体障害者(児)日常生活用具給付事業費							在宅の重度身体障害者(児)に対して必要な日常生活用具を給付又は貸与することによって、日常生活における便宜を図る。身体障害者(18歳以上)の日常生活用具は43品目あり、身体障害児(18歳未満)の方は35品目ある。
	本年度	4,657		2,881			1,776	平成17年度給付実績
	前年度	3,263		2,116			1,147	68件(身体障害者62件、身体障害児6件)
	増減額	1,394	0	765	0	0	629	・盲人用時計 5件(身障者5件) ・特殊寝台 6件(身障者6件) ・入浴補助用具 8件(身障者8件) ・特殊便器 1件(身障児1件) ・拡大読書器 2件(身障者2件) ・ネプライザー 2件(身障者1件、身障児1件) ・たん吸引器 2件(身障者1件、身障児1件) ・住宅改修 7件(身障者7件) ・その他 29件(身障者26件、身障児3件)

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財源内訳					内容
			国	県	起債	その他	一般財源	
								在宅での生活が困難な障害者が、施設に入所または通所し、必要な指導や訓練、リハビリテーション等を受ける。
保健高齢障害課	障害者施設入所事業							
	本年度	462,342	242,740			(分) 264	219,338	
	前年度	470,914	224,925			(分) 323	245,666	
	増減額	△ 8,572	17,815	0	0	△ 59	△ 26,328	・身体障害者 52人 156,731,310円 ・知的障害者 120人 305,609,603円 (施設別) ・入所授産施設 14人(身障6人、知的8人) ・通所授産施設 72人(身障20人、知的52人) ・入所更生施設 54人(身障3人、知的51人) ・通所更生施設 8人(知的8人) ・療護施設 23人(身障23人) ・通勤寮 1人(知的1人)
								心身障害者(児)療育キャンプを実施することにより、障害者の自立と社会参加を促進する。
保健高齢障害課	障害者福祉推進事業費							
	本年度	112					112	
	前年度	233					233	
	増減額	△ 121	0	0	0	0	△ 121	17年度参加人数 91名

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財源内訳					内容	
			国	県	起債	その他	一般財源		
								障害者が地域社会で自立し、社会参加していくために、条件整備を推進するもの。	
保健高齢障害課	障害者社会参加事業費								
		本年度	2,957		2,205		(分) 28	724	具体的な事業 1.手話通訳者設置事業 2.自動車改造、運転免許取得事業 3.日常生活訓練事業 4.手話奉仕員養成事業 5.点字広報・声の広報等発行事業 6.スポーツ教室開催事業 7.手話奉仕員派遣事業 8.移送サービス事業
		前年度	3,215		2,810		(分) 30	375	
		増減額	△ 258	0	△ 605	0	△ 2	349	
									外出が困難な重度の身体障害者に対し、電話を貸与することによって、コミュニケーションおよび緊急連絡の手段を確保する。対象者は低所得者世帯に属する1、2級の身体障害者手帳所持者。
保健高齢障害課	障害者福祉電話等維持費								
		本年度	325					325	17年度貸与台数 10台
		前年度	321					321	
		増減額	4	0	0	0	0	4	

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財源内訳					内容
			国	県	起債	その他	一般財源	
保健高齢障害課	難病患者等在宅生活支援事業							難病患者等が居宅において日常生活を営むことができるよう、ホームヘルプサービス及び短期入所の利用や日常生活用具の給付について必要な便宜を図ることにより、難病患者等の自立と社会参加を促進し、福祉の増進を図る。
	本年度	306	110	147		(分) 190	△ 141	・ホームヘルプサービス 1人 306,000円
	前年度	343	122	127		(分) 169	△ 75	・短期入所 0人 0円
	増減額	△ 37	△ 12	20	0	21	△ 66	・日常生活用具給付 0人 0円
保健高齢障害課	障害児在宅福祉事業							障害児が居宅において日常生活を営むことができるよう、ホームヘルプサービス、デイサービス、短期入所の利用について必要な便宜を図ることにより、障害児の自立と社会参加を促進し、福祉の増進を図る。
	本年度	10,890	5,816	2,989			2,085	・ホームヘルプサービス 17人 8,632,000円
	前年度	7,758	4,188	2,093			1,477	・デイサービス 2人 278,040円
	増減額	3,132	1,628	896	0	0	608	・短期入所 18人 1,978,600円

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財源内訳					内容
			国	県	起債	その他	一般財源	
								訪問入浴車により身体障害者の家庭を訪問し、浴槽を搬入して、入浴介護サービスを行う。
保健高齢障害課	身体障害者訪問入浴サービス事業							
	本年度	625	140				485	
	前年度	263	53				210	
	増減額	362	87	0	0	0	275	平成17年度利用者数 1名
								在宅の障害者の福祉推進を図るため、障害者小規模通所授産施設に対し、運営費の補助を行う。
保健高齢障害課	障害者小規模通所授産施設運営費助成事業費							
	本年度	10,500		7,875			2,625	
	前年度	7,875		5,906			1,969	
	増減額	2,625	0	1,969	0	0	656	運営費補助対象施設 1ヶ所 「寺子屋作業所ほのぼの家」

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財源内訳					内容
			国	県	起債	その他	一般財源	
保健高齢障害課	心身障害者扶養共済保険掛金助成事業							心身障害者の保護者が一定額の掛金を納付することにより、保護者が死亡または重度障害になったとき、心身障害者に終身、月額2万円の年金を支給する共済制度の掛金を助成するもの。生活保護世帯に対しては全額、市民税非課税世帯には5/10、市民税均等割課税世帯には3/10の助成をする。
	本年度	62		31			31	17年度助成の内訳
	前年度	174		86			88	・5/10補助 2名
	増減額	△ 112	0	△ 55	0	0	△ 57	
保健高齢障害課	知的障害者在宅福祉事業							知的障害者が居宅において日常生活を営むことができるよう、ホームヘルプサービス、デイサービス、短期入所、グループホームの利用について必要な便宜を図ることにより、知的障害者の自立と社会参加を促進し、福祉の増進を図る。
	本年度	26,376	13,097	6,617			6,662	・ホームヘルプサービス 13人 9,194,800円
	前年度	18,657	10,056	5,028			3,573	・デイサービス 0人 0円
	増減額	7,719	3,041	1,589	0	0	3,089	・短期入所 14人 1,904,230円 ・グループホーム 13人 15,275,830円

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財源内訳					内容
			国	県	起債	その他	一般財源	
保健高齢障害課	在宅重度心身障害者福祉手当支給事業							精神又は身体に著しく重度の障害があり、日常生活において常時介護を必要とする重度心身障害者(児)に対して手当を支給することにより、経済的負担の軽減を図るもの。
		本年度	19,429	15,043			4,386	17年度実績(延べ人数)
		前年度	21,145	15,596			5,549	1,028人
		増減額	△ 1,716	△ 553	0	0	△ 1,163	1. 特別障害者手当 380人 10,077,600円
								2. 障害児福祉手当 370人 5,339,100円
								3. 経過的福祉手当 278人 4,011,540円
保健高齢障害課	在宅重度心身障害者福祉タクシー料金助成事業費							在宅の重度心身障害者が利用するタクシー料金の一部を助成することにより、日常生活の利便と、社会参加の拡大を図る。対象者は身体障害者手帳1、2級所持者または療育手帳Aの者で、属する世帯が市民税非課税の者。
		本年度	2,162				2,162	17年度実績
		前年度	2,216				2,216	・タクシー券交付者数 277名
		増減額	△ 54	0	0	0	△ 54	・タクシー券利用枚数 3,860枚(1枚当たり560円)

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財源内訳					内容
			国	県	起債	その他	一般財源	
保健高齢障害課	精神障害者在宅福祉事業							精神障害者が居宅において日常生活を営むことができるよう、ホームヘルプサービス、グループホームの利用について必要な便宜を図ることにより、精神障害者の自立と社会参加を促進し、福祉の増進を図る。
	本年度	6,110		4,731			1,379	・ホームヘルプサービス 7人 1,355,080円
	前年度	4,316		3,349			967	・グループホーム 延べ97人 4,774,270円
	増減額	1,794	0	1,382	0	0	412	
保健高齢障害課	災害見舞金給付事業							田川市災害見舞金支給要綱に基づき、自然災害及び火災等により災害を受けた者又はその遺族に対し、被害の程度により見舞金を支給する。
	本年度	182					182	17年度災害件数
	前年度	337					337	・全焼 3件
	増減額	△ 155	0	0	0	0	△ 155	

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財源内訳					内容	
			国	県	起債	その他	一般財源		
保健高齢障害課	長寿園運営費							老人福祉法の規定に基づき、身体上若しくは精神上又は環境上の理由により、居宅において養護を受けることが困難な65歳以上のものを入所養護する。	
		本年度	127,455	0	17	(分) 53,166	74,272	1. 入所人員47名(4月1日現在) 定員60名	
		前年度	127,324	31,078	1,669	(分) 49,010	45,567	男17名 女 31名 平均年齢 80.45歳	
		増減額	131	△ 31,078	△ 1,652	0	4,156	28,705	2. 田川市措置者 27名 市外措置者 20名
保健高齢障害課	乳幼児健診等							乳幼児の健全な発育、発達を促すために発育の状態、栄養の良否、疾病の有無について身体重測定、問診、診察、栄養相談、育児指導等を実施。	
		本年度	3,673	451	22		3,200	実施回数 受診者数	
		前年度	3,819	389	910		2,520	4ヵ月児健康診査(4ヵ月～5ヵ月未満対象) 年12回 419人	
		増減額	△ 146	62	△ 888	0	680	7ヵ月児健康診査(7ヵ月～8ヵ月未満対象) 年12回 405人	
								1歳6ヵ月児健康診査(1歳6ヵ月～2歳未満対象) 年12回 426人	
								3歳児健康診査(3歳～4歳未満対象) 年12回 411人	
								離乳食教室 年24回 741人	
								おやつ教室 年24回 670人	
								親子ふれあい教室 年40回 延297人	

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財 源 内 訳					内 容																																													
			国	県	起債	その他	一般財源																																														
								市民一人ひとりに、健康は豊かな人生のためのかけがえのない「たからもの」であり、日々自分自身の努力でつくって行くものであることを認識し、実践することを目的に、総合健診とイベントに分けて実施。 健診の部 平成17年4月9日～12日、平成17年6月～平成18年2月の期間に12回実施 基本健診(肝臓精密含) 1,920人 前立腺がん検診 208人 胃がん検診 1,478人 肺がん及び結核検診 1,813人 大腸がん検診 1,623人 子宮がん検診 921人 乳がん検診 796人 骨粗しょう症検診 935人 相談と催しの部 平成17年5月22日 簡単な検査、体力診断、医師等専門家の相談、試食、子どもふれあい広場等。歯の健康展と同時開催。 参加者数 延4,838人																																													
保健高齢障害課	幸せを開く健康展及び総合健診																																																				
	本年度	19,451	2,020	2,070		(諸) 9,464	5,897																																														
	前年度	20,469	2,156	2,509		(諸) 9,093	6,711																																														
	増減額	△ 1,018	△ 136	△ 439	0	371	△ 814																																														
								予防接種法に基づく定期の予防接種(ポリオ、三種混合、二種混合、風しん、麻しん、日本脳炎、インフルエンザ)及び結核予防法に基づく予防接種(ツ反・BCG)を実施。 各接種者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施回数</th> <th>対象者数</th> <th>接種者数</th> <th>接種率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポリオ</td> <td>6回</td> <td>1,157人</td> <td>1,144人</td> <td>98.9%</td> </tr> <tr> <td>三種混合</td> <td>10回</td> <td>1,737人</td> <td>1,517人</td> <td>87.3%</td> </tr> <tr> <td>麻しん</td> <td>6回</td> <td>483人</td> <td>472人</td> <td>97.7%</td> </tr> <tr> <td>日本脳炎</td> <td>18回</td> <td>3,727人</td> <td>662人</td> <td>17.8%</td> </tr> <tr> <td>BCG</td> <td>12回</td> <td>423人</td> <td>399人</td> <td>94.3%</td> </tr> <tr> <td>風しん</td> <td>6回</td> <td>470人</td> <td>468人</td> <td>99.6%</td> </tr> <tr> <td>ジフテリア</td> <td>10回</td> <td>470人</td> <td>382人</td> <td>81.3%</td> </tr> <tr> <td>インフルエンザ</td> <td>12回</td> <td>13,407人</td> <td>4,471人</td> <td>33.3%</td> </tr> </tbody> </table>		実施回数	対象者数	接種者数	接種率	ポリオ	6回	1,157人	1,144人	98.9%	三種混合	10回	1,737人	1,517人	87.3%	麻しん	6回	483人	472人	97.7%	日本脳炎	18回	3,727人	662人	17.8%	BCG	12回	423人	399人	94.3%	風しん	6回	470人	468人	99.6%	ジフテリア	10回	470人	382人	81.3%	インフルエンザ	12回	13,407人	4,471人	33.3%
	実施回数	対象者数	接種者数	接種率																																																	
ポリオ	6回	1,157人	1,144人	98.9%																																																	
三種混合	10回	1,737人	1,517人	87.3%																																																	
麻しん	6回	483人	472人	97.7%																																																	
日本脳炎	18回	3,727人	662人	17.8%																																																	
BCG	12回	423人	399人	94.3%																																																	
風しん	6回	470人	468人	99.6%																																																	
ジフテリア	10回	470人	382人	81.3%																																																	
インフルエンザ	12回	13,407人	4,471人	33.3%																																																	
保健高齢障害課	予防接種																																																				
	本年度	19,475					19,475																																														
	前年度	22,607					22,607																																														
	増減額	△ 3,132	0	0	0	0	△ 3,132																																														

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財 源 内 訳					内 容
			国	県	起 債	その他	一般財源	
児童保育課	放課後事業健全育成事業							小学校児童で、その保護者が労働等で昼間家庭にいない者を対象に10の児童クラブを設置し、健全育成を図る。1クラブ当たり児童数10人以上、年間200日以上開設が採択基準である。
	本年度	43,130		20,442		(分) 12,113	10,575	核家族化の進展や女性の就労の増大により、昼間保護者のいない小学校児童も増えており、授業の終了後に適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る。 1. 児童登録数 : 712人 (3月末) 2. 開設時間 ア 平日、給食の無い日 : 授業終了～18:00 イ 土曜日、春・夏・冬休み期間、学校行事等の代休日 : 8:00 ~ 18:00 3. 利用者負担金 : 1日当たり 平日150円、休日300円
	前年度	41,141		19,169		(分) 11,847	10,125	
	増減額	1,989	0	1,273	0	266	450	
児童保育課	保育所運営委託費							保護者の労働又は疾病などの理由により、その監護すべき乳幼児又はその他の児童について、保育に欠けるところがあると認めるときは、それらの児童を保育所に入所させて保育の実施をする。
	本年度	1,261,923	478,478	239,239		(分) 240,408	303,798	児童福祉法第24条に基づき、日々保育に欠ける乳児または幼児を保育するため、保育所に対し保育所運営費を支弁する。 市内私立保育所 : 17園 入所延人数 11,440人 市外保育所 : 49園 入所延人数 2,727人
	前年度	1,221,031	464,646	231,088		(分) 231,098	294,199	
	増減額	40,892	13,832	8,151	0	9,310	9,599	

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財源内訳					内容
			国	県	起債	その他	一般財源	
児童保育課	児童手当支給事業費							児童手当等は、9歳到達後最初の3月31日までの間にある児童(義務教育就学前の児童)を養育している人に支給する。 ただし、前年(1月から5月までの月分の手当については前々年)の所得が一定額以上の場合には、児童手当等は支給されない。
	本年度	249,630	178,935	35,347			35,348	
	前年度	237,535	170,282	33,626			33,627	
	増減額	12,095	8,653	1,721	0	0	1,721	家庭における生活の安定と次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上を図る。
								支給額 第1子 5,000円(月額) 第2子 5,000円(月額) 第3子以降 10,000円(月額)
児童保育課	児童扶養手当支給事業費							父母の離婚、父の死亡などによって、父と生計を同じくしていない児童(18歳年度末まで)を監護している母、又は母に代ってその児童を養育している人に支給する。
	本年度	413,784	310,337				103,447	【支給要件】 ① 父母が婚姻を解消した児童 ② 父が死亡した児童 ③ 父が施行令に定める程度の障害の状態にある児童で公的年金の加算対象となっていない児童 ④ 父の生死が明らかでない児童 ⑤ 父から1年以上遺棄されている児童 ⑥ 父が法令により引き続き1年以上拘禁されている児童 ⑦ 母が婚姻によらないで懐胎した児童
	前年度	410,333	307,749				102,584	
	増減額	3,451	2,588	0	0	0	863	母子世帯等の生活の安定を図り、自立を促進する。 全部支給： 児童1人 月額41,880円 一部支給： 児童1人 月額41,870円から9,880円

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財 源 内 訳					内 容
			国	県	起 債	その他	一般財源	
児童保育課	特別保育事業							保護者の就労形態の多様化に伴う保育時間延長の需要対応として、保育時間延長を行う保育所に対する補助を行い、また、集団保育が可能な「保育に欠ける」障害児の円滑な入所を推進するための保育所への補助等、各保育所の機能強化、体制整備を促し、児童福祉の向上を図る。
	本年度	13,100	7,427	0			5,673	
	前年度	11,728	2,148	4,970			4,610	
	増減額	1,372	5,279	△ 4,970	0	0	1,063	<ul style="list-style-type: none"> ・延長保育促進事業 11時間開所の前後で2時間以上の延長保育 : 市内1箇所 11時間開所の前後で1時間の延長保育 : 市内2箇所 ・障害児保育事業 障害児保育に必要な保育士加配に対するの助成 : 対象児童7人
児童保育課	保育所運営事業							保育に欠ける乳児又は幼児の保育を行い、適切な保育施設、整備を確保し、児童の福祉の向上を図ることを目的とする。
	本年度	357,930	5,126	8,409		(分) 81,467	262,928	児童福祉施設最低基準に基づき、入所児童数及び児童の年齢等に 応じた職員配置を行い、保育を実施する。
	前年度	371,917	0	15,528		(分) 86,170	270,219	
	増減額	△ 13,987	5,126	△ 7,119	0	△ 4,703	△ 7,291	<ul style="list-style-type: none"> ・中央保育所 : 定員60人 0歳児から3歳児まで 入所延人数 572人 一時保育:利用者負担額 半日1,000円、1日2,000円 地域子育て支援センター事業 : ①育児相談指導 ②子育てサークル等の育成・支援 ③講演会 ・西保育所 : 定員110人 入所延人数 1,423人 0歳児から5歳児まで ・北保育所 : 定員90人 入所延人数 1,016人 0歳児から5歳児まで

(単位:千円)

担当課名	事業名	金額	財 源 内 訳					内 容
			国	県	起債	その他	一般財源	
								3. 4. 5歳児の就学前集団保育指導 ・地域の子育ての一環を担い、保護者同士の交流等で子育ての喜びを知り、積極性が培われている。 児童センターの利用延児童数は10,435人である。 ・集団指導の中で諸々の活動、遊び、絵本の読み聞かせ、野菜の栽培などを通じ、園児の心身の成長を促している。
児童保育課	児童センター運営事業費							
	本年度	4,138					4,138	
	前年度	5,209					5,209	
	増減額	△ 1,071	0	0	0	0	△ 1,071	